

災害管理業務の業務・システムの見直し方針

中央防災会議

「防災情報システム整備の基本方針(H15.3)」

「防災情報の共有化に関する専門調査会報告(H15.7)」



・現場での活動に必要な情報の、防災関係機関間の横断的な共有が不十分

現 状

1. 被害の報告文書の様式が統一でない。
2. 情報伝達手段は電子メールで効率が図られているものもあるが、電話、FAXを使用している状況も見受けられ、理解やりとりにかかることがある。
3. 収集された情報が被災地で十分に活用されていないことがある。

防災情報共有プラットフォームの構築 (平成16年度から17年度)

見 直 し

1. 防災関係機関が横断的に共有すべき防災情報の形式の標準化。
2. 情報の統合化、視覚化により、迅速かつ的確な状況判断。
3. 共通システムの整備の誘導。



効果的・効率的な災害対策活動を実施する。

- ・限られた資材・人材の有効活用
- ・情報収集・伝達の省力化により、防災関係機関の災害対応能力の強化